

# 未来創造委員会

1. 構成員
- |      |                |
|------|----------------|
| 委員長  | 秋葉真規人          |
| 副委員長 | 加藤将伍           |
| 委員   | 石川丈晃 保科幹樹 高野晋一 |

1. 予算額 未定

## 1. 運営方針

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、ゆるやかではありつつも観光産業は復活の兆しを見せています。一方で、日本国内の観光産業においてはそれまで重要視されていた旅行者数を増やすといった考え方から、ステークホルダーツーリズムの考え方を始めとする質を求める観光へとパラダイムシフトを起こしています。飯能市・日高市の地においても地域活性化のために観光客数を増やす取り組みが必要である一方で、特定の場所、時期においてはごみ問題などのオーバーツーリズムの問題が発生しています。両市の豊富な観光資源を今後も保持し、持続可能な観光の構築に取り組むためにも、この価値観の変化を取り入れることが必要であると考えます。

まず、これら新しい価値観をこの地域に浸透させていくためにも、未来創造委員会を始めとするメンバーが両市の観光の強みを再認識し、観光産業を支える方々と対話していく中で、この両市の地域にあった観光の質を求めるステークホルダーツーリズムをかなえる仕組みづくりを検討していきます。さらに、その両市の観光の強みと仕組みづくりを活かしたイベントを計画、実行するとともに、そこでの結果をもとに観光客、地域経済、地域住民にとって望ましいと思える観光のありかたとは何かを追求し、年間を通じてその実現に向けた運動を展開していきます。

このステークホルダーツーリズムの考え方をこの地域でも浸透させ、将来のあるべき観光のかたちを地域全体で模索し、その実現を目指すことがこの地域の観光を今以上により良いものに変化するよう促せます。そういった持続可能な観光への変化は、観光客の人数に着目することなく、観光客を地域のファンにしていくような持続可能な観光へと変化していきます。その誰もが望ましい観光は、この地域の活性化につながり、私たちの住むこの地域の未来を作り上げるものだと確信します。

## 1. 事業計画

- ① 賀詞交歓会の担当（1月）
- ② 例会3回（2月、5月、9月）
- ③ 商工会議所協賛事業の担当（9月）
- ④ 3分間スピーチの担当
- ⑤ 卒業式の担当